



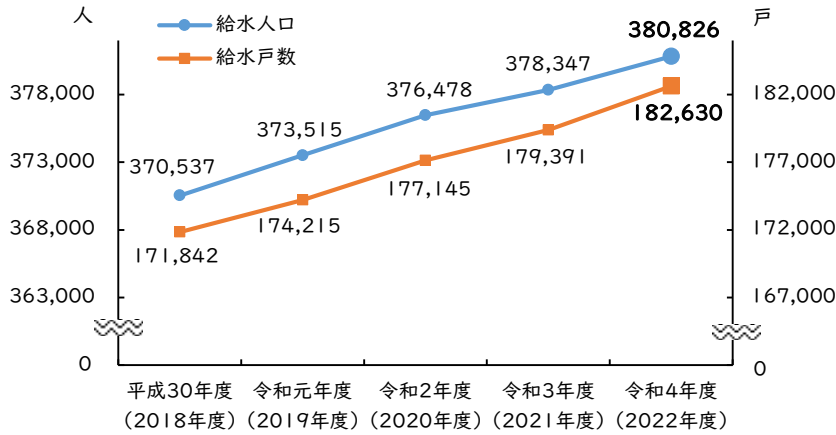
第1章

吹田市水道事業の業務状況

1. 給水人口と給水戸数
2. 配水量と給水量
3. 決算状況
4. 収益的収支と単年度純利益
5. 資本的収支と不足額
6. 決算の概要

1. 給水人口と給水戸数

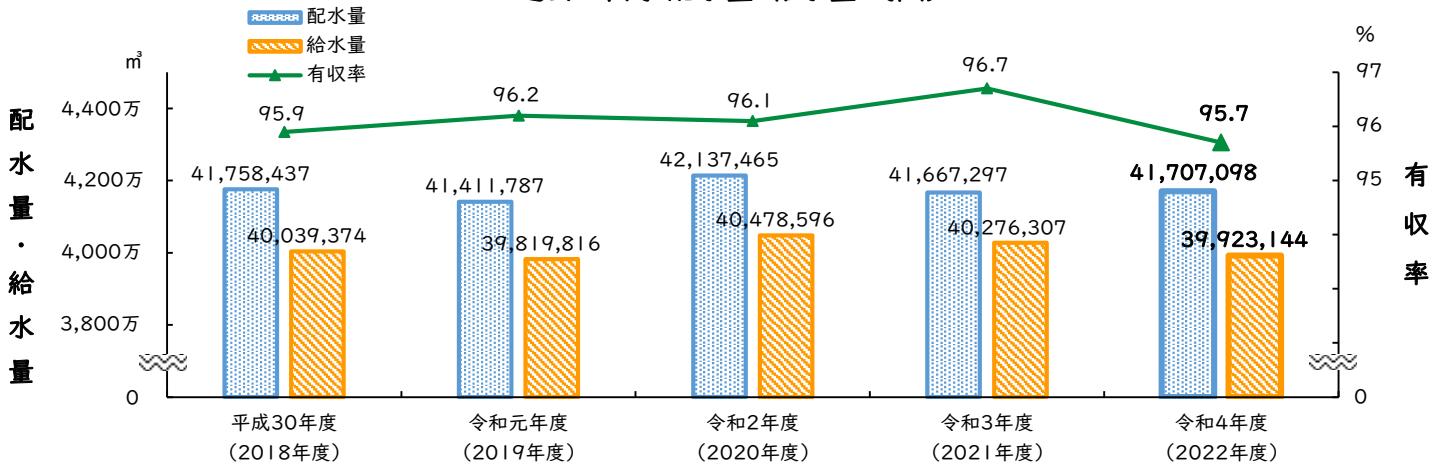
過去5年間 給水人口・給水戸数の推移



令和4年度(2022年度)末の給水人口^{*}は380,826人で、前年度と比較して2,479人(0.7%)増加しています。
また、給水戸数は、182,630戸で3,239戸(1.8%)増加しています。

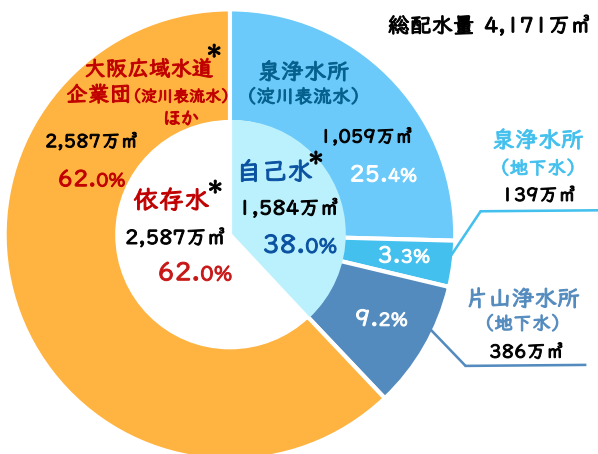
2. 配水量と給水量

過去5年間 配水量・給水量の推移

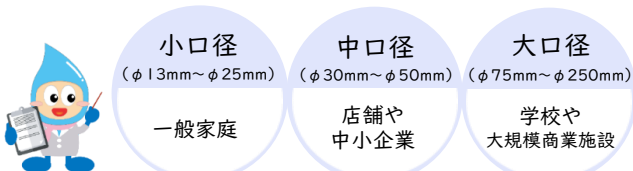


令和4年度(2022年度)実績

配水量の内訳



メーター口径別 主な使用用途



配水量^{*}

配水池などから配水管に送り出された水量

41,707,098m³となり、前年度と比較して39,801m³(0.1%)増加

給水量^{*} (有収水量)

みなさまにお届けする水量のうち、料金徴収の対象となる水量

39,923,144m³となり、前年度と比較して353,163m³(0.9%)減少

有収率^{*}

送り出した水が、どの程度料金収入に反映しているかを示すもの

95.7%となり、前年度と比較して1.0ポイント減少

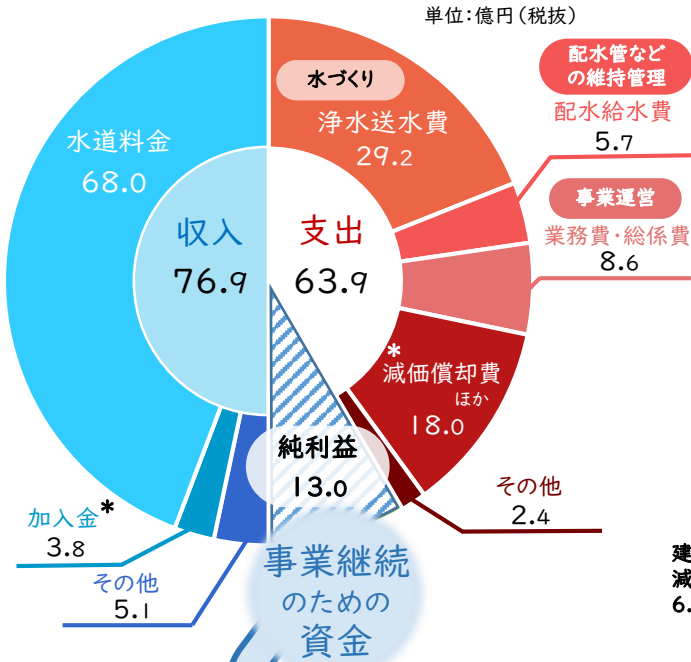
令和4年度(2022年度)は、前年度と比較して、中・大口径の給水量は増加したものの、小口径の給水量は減少しており、全体として減少しました。

在宅率の上昇などに伴う小口径の水量増加といった、コロナ禍の影響により、変化していた水需要構造が、社会活動の再開とともに緩やかにコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

3. 決算状況

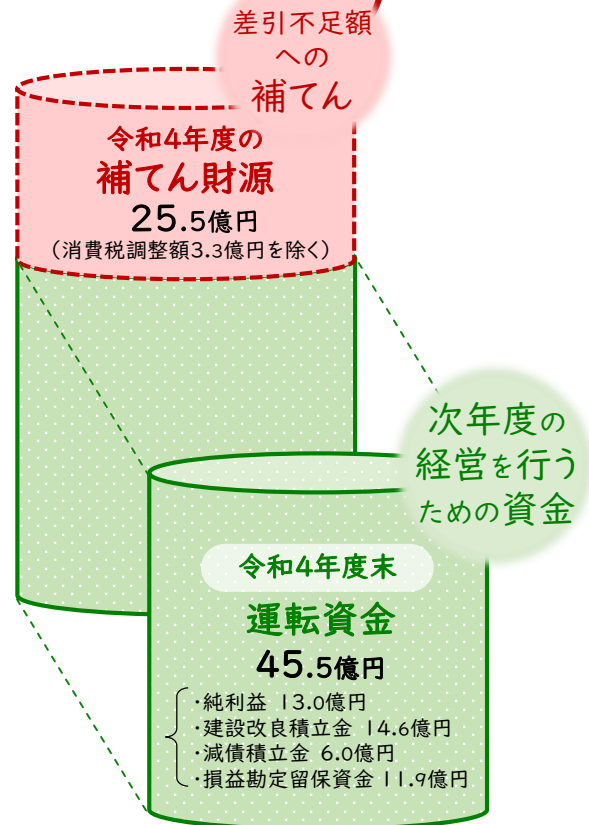
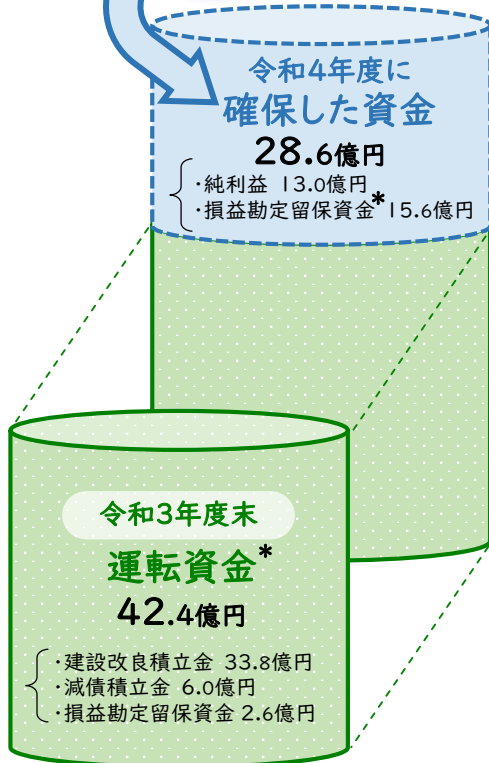
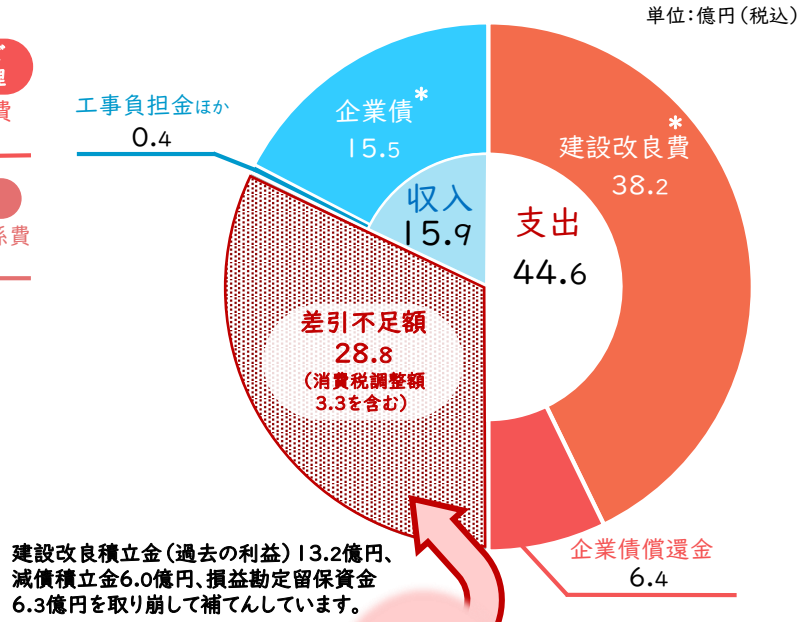
水道水をつくり、おくるための収支

収益的収支*の内訳



水道施設を整備するための収支

資本的収支*の内訳



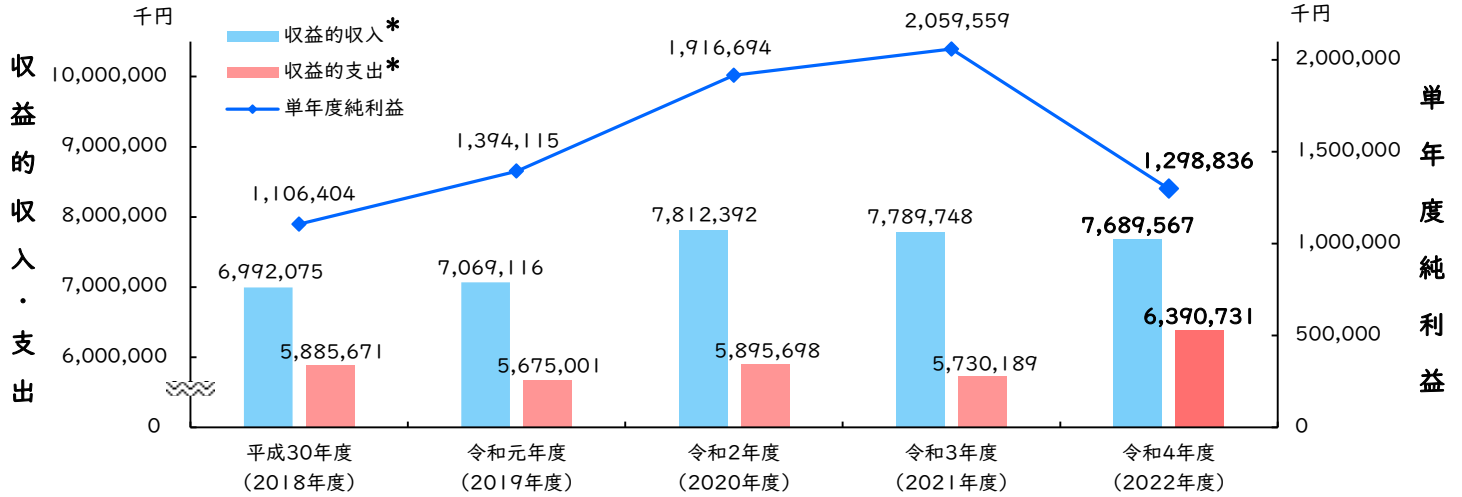
(税抜)

令和4年度(2022年度)は収益的収支面において、純利益12億9,883万6千円と減価償却費等の損益勘定留保資金(長期前受金戻入2億815万4千円を調整後)15億5,920万3千円により28億5,803万9千円の資金を確保しました。資本的収支面では、一部の建設改良工事を翌年度に繰り越したことにより25億4,652万3千円の資金不足となりました。

令和4年度(2022年度)末の運転資金は、前年度と比較して、3億1,151万6千円(7.4%)増の45億4,858万1千円となりました。

4. 収益的収支と単年度純利益

過去5年間 収益的収支と単年度純利益の推移(税抜)



収益的収入 76億8,956万6,706円となり、前年度と比較して1億18万1,520円(1.3%)減少

収益的支出 63億9,073万833円となり、前年度と比較して6億6,054万2,210円(11.5%)増加

収入のポイント

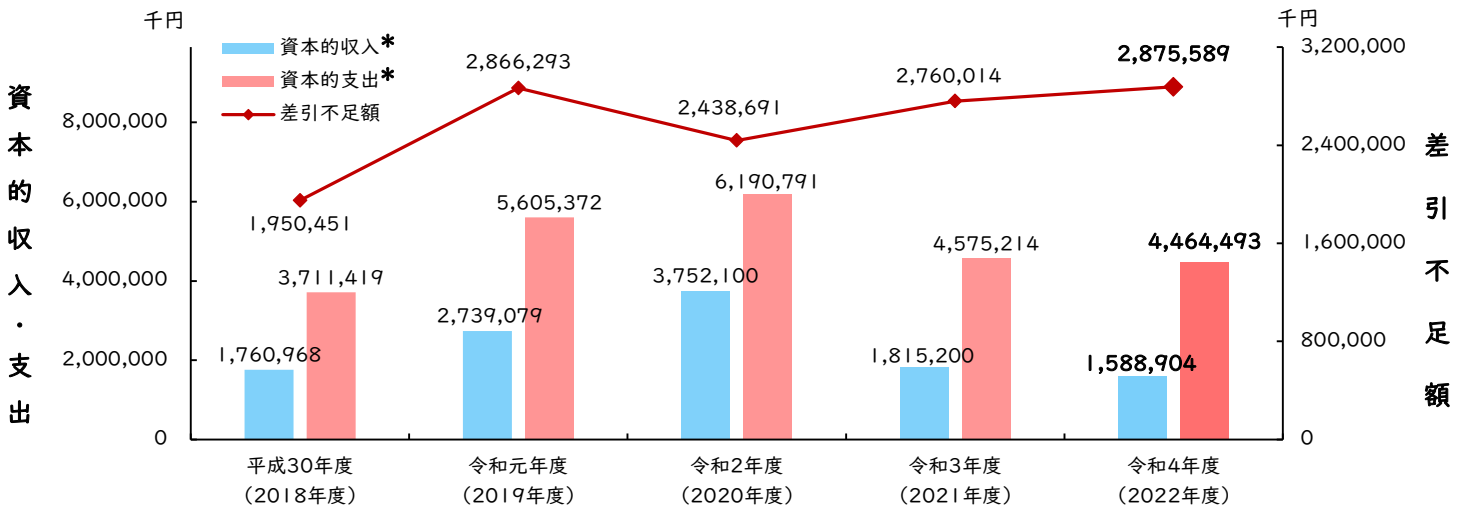
一般家庭などで主に使用されている小口径の水量が減少したことに伴い、全体の給水量が減少し、収入の根幹となる給水収益が減少しました。

支出のポイント

片山浄水所新施設の本格稼働や蓮間配水場の機能停止などにより、減価償却費及び固定資産除却費が大幅に増加したほか、電力価格の上昇により、動力費についても大幅に増加しました。

5. 資本的収支と不足額

過去5年間 資本的収支と不足額の推移(税込)



支出のポイント

建設改良工事を行う費用が支出額の大部分を占めており、水道管の工事に27億7,216万8,195円(負担金を除く)、浄水所・配水場の工事に5億8,967万230円を支出しました。

財源のポイント

建設改良工事の財源として、企業債の借入れ15億5,000万円のほか、減債積立金や建設改良積立金などの自己資金を充当しました。

6. 決算の概要

(1) 収益的収支

(単位:千円、税抜、%)

| 科目 | 令和4年度 (2022年度) 決算額 | 令和3年度 (2021年度) 決算額 | 対前年度 比率 |
|---------|--------------------------|--------------------------|------------|
| 水道事業収益 | 7,689,567 | 7,789,748 | △ 1.3 |
| 給水収益 | 6,801,271 | 6,824,885 | △ 0.3 |
| 加入金 | 375,750 | 459,250 | △ 18.2 |
| 長期前受金戻入 | 208,154 | 164,355 | 26.6 |
| 特別利益 | 0 | 0 | - |
| その他 | 304,392 | 341,258 | △ 10.8 |
| 水道事業費用 | 6,390,731 | 5,730,189 | 11.5 |
| 人件費 | 1,053,349 | 1,063,973 | △ 1.0 |
| 受水費 | 1,862,417 | 1,906,436 | △ 2.3 |
| 動力費 | 259,866 | 160,081 | 62.3 |
| 修繕費 | 97,783 | 109,593 | △ 10.8 |
| 委託料 | 579,016 | 611,251 | △ 5.3 |
| 材料費 | 18,427 | 17,606 | 4.7 |
| 工事請負費 | 28,289 | 26,177 | 8.1 |
| 路面復旧費 | 100,256 | 149,569 | △ 33.0 |
| 賃借料 | 138,189 | 135,733 | 1.8 |
| 負担金 | 13,057 | 3,401 | 283.9 |
| 減価償却費等 | 1,803,730 | 1,113,302 | 62.0 |
| 支払利息 | 172,883 | 167,153 | 3.4 |
| その他 | 263,469 | 265,914 | △ 0.9 |
| 特別損失 | 0 | 0 | - |
| 当年度純利益 | 1,298,836 | 2,059,559 | - |

(2) 資本的収支

(単位:千円、税込、%)

| 科目 | 令和4年度 (2022年度) 決算額 | 令和3年度 (2021年度) 決算額 | 対前年度 比率 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|------------|
| 資本的収入 | 1,588,904 | 1,815,200 | △ 12.5 |
| 企業債 | 1,550,000 | 1,780,000 | △ 12.9 |
| 工事負担金 | 37,810 | 35,200 | 7.4 |
| 開発負担金 | 0 | 0 | - |
| 固定資産 売却代金 | 0 | 0 | - |
| 国庫補助金 | 1,094 | 0 | 皆増 |
| 資本的支出 | 4,464,493 | 4,575,214 | △ 2.4 |
| 事務費 | 179,183 | 165,126 | 8.5 |
| 工事費 | 3,574,622 | 3,657,739 | △ 2.3 |
| 量水器 | 5,207 | 6,996 | △ 25.6 |
| 車両運搬具 | 0 | 0 | - |
| 工具器具備品 | 62,116 | 112,802 | △ 44.9 |
| 企業債償還金 | 643,365 | 632,551 | 1.7 |
| 開発負担金 返還金 | 0 | 0 | - |
| 差引不足額(△) | △ 2,875,589 | △ 2,760,014 | - |

(3) 業務量

| 項目 | 令和4年度 (2022年度) | 令和3年度 (2021年度) | 対前年度 比率 |
|------|---------------------------|---------------------------|------------|
| 総配水量 | 41,707,098 m ³ | 41,667,297 m ³ | 0.1 % |
| 有収水量 | 39,923,144 m ³ | 40,276,307 m ³ | △ 0.9 % |
| 給水人口 | 380,826 人 | 378,347 人 | 0.7 % |
| 給水戸数 | 182,630 戸 | 179,391 戸 | 1.8 % |